

科学技術と現代社会

第8回

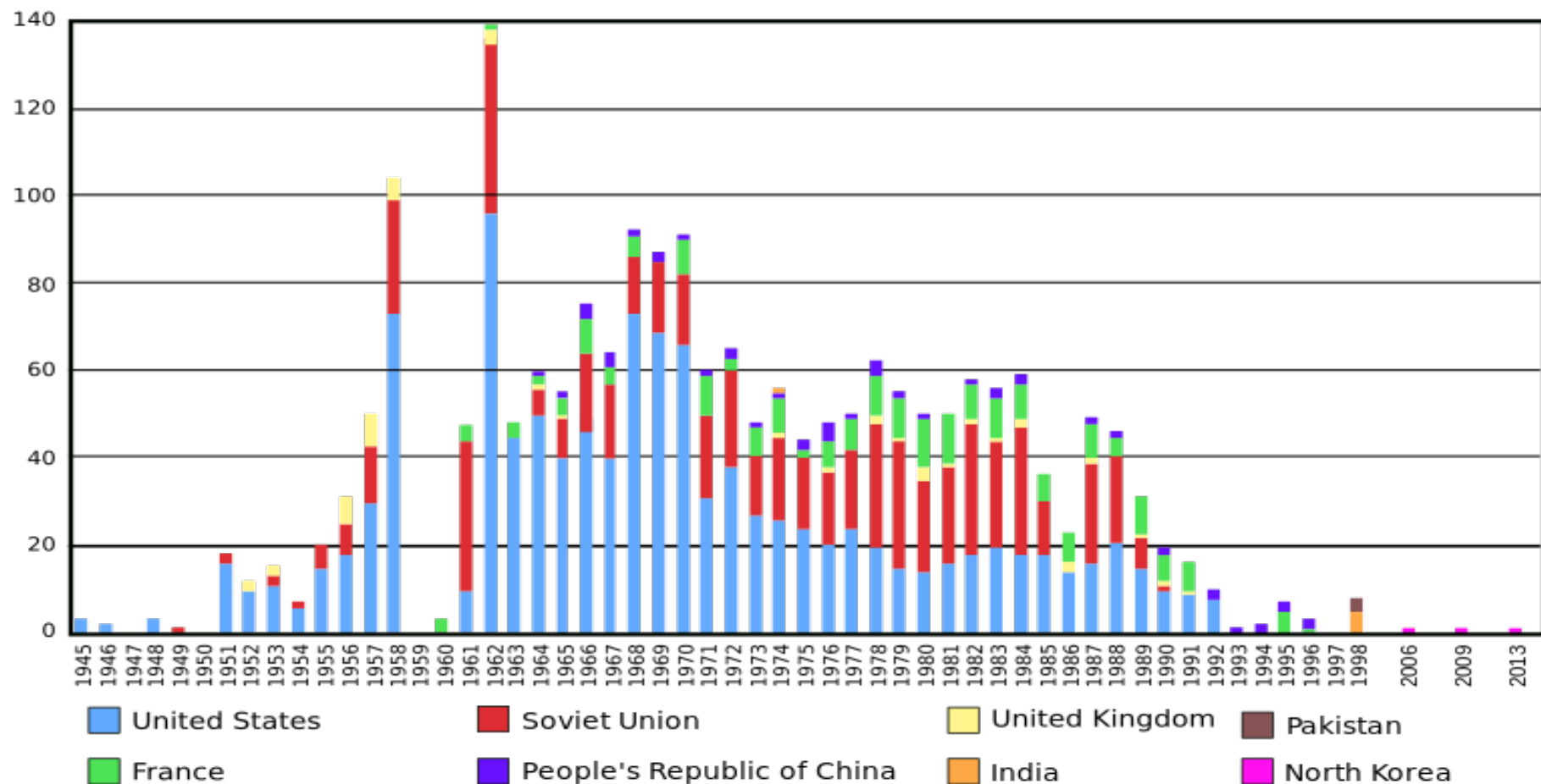
冷戦下の核実験と新たな被ばく者

田中 浩朗
(東京電機大学)

第二次大戦後の新たな「被ばく者」

- ヒロシマ・ナガサキ以降も、「被ばく者」が生み出され続けている
- 被ばく者
 - ◆ 被爆者＝核爆弾の攻撃を受けた人
 - ◆ 被曝者＝核実験等による放射線に曝された人

Worldwide nuclear testing, 1945 - 2013



アメリカの核実験

- 1945.7 ニューメキシコ州アラモゴード(史上初)
- 1945.8 広島・長崎(実戦使用)
- 1946～62 太平洋(ビキニ、エニウエトク等)
- 1951～92 ネバダ('62までは大気圏内)

- 1946.7 クロスロード作戦(ビキニ)戦後初
- 1954.3 キャッスル作戦(ビキニ)水爆ブラボー
 - ◆ 日本の漁船・第五福竜丸が被曝

ビデオ

- ウィークエンドスペシャル
「ビキニ・核の黙示録 ～死と再生の軌跡～」
(NHK衛星第2、1997.8.8)
- ◆ クロスロード作戦(1946年)

ビデオ

- 日曜スペシャル
「すてられた放射能の島
～マーシャル・核の流民たち～」
(NHK衛星第1、1999.11.14)
- ◆ ビキニ水爆実験(1954年)
- ◆ ロングラップ島住民の被曝
- ◆ 被ばく者の調査

ビデオ

- ドキュメント地球時間
「アメリカ 被曝兵士の告発」
(NHK教育、2001.6.15)
- ◆ ネバダ核実験場での兵士の被曝、ほか

ビデオ

- クローズアップ現代
「暴かれた米国核人体実験
～冷戦下に何が行われたか～」
(NHK総合、1994.3.30)
 - ◆ 1945.4-1947
マンハッタン管区(のち、原子力委員会)、プルトニウムを
18人に注射
 - ◆ 1972年まで、放射性物質投与や放射線照射実験

第8回課題

- 第8回授業の簡単なまとめと感想など
- なぜアメリカ政府は、国内外に大量の「被ばく者」を生み出してまで、核実験を行ったのか？
- なぜアメリカ国民の多くは、自国の核実験を認めたのか？
 - ◆ 参考：1954年4月のギャラップ社世論調査によると、71%のアメリカ人は核実験継続を支持